

## 首藤保之助と泥面

考古、民俗資料を集める仕事に一生をかけ、集めた資料をたくさん須賀川市に寄付した首藤保之助は、明治二十年（一八八七年）三月、岩瀬郡木之崎村（長沼町）味戸保左衛門の三男として生まれました。

そのころ木之崎村には小学校がなかったので、七キロもある遠い道を歩いて須賀川の学校に通い、明治三十六年に卒業しました。

校長先生は保之助の成績がたいへん良かったので、その才のうをおしんでさらに勉強をつづけるよう、東京の師はん学校（先生になるための学校）に進学をすすめました。

師はん学校を卒業した保之助は東京の浅草に住み、小学校の先生として勤めましました。